

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル

(3652 東証マザーズ) 発行日：2020/6/2

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.com/>

● 決算速報

◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。

◆ 2020 年 3 月期業績

- ・同社の 2020/3 期業績は、売上高 1,328 百万円（前期比 22.2%増）、営業利益 82 百万円（同 185.6%増）、経常利益 85 百万円（同 155.4%増）、当期純利益 65 百万円（同 86.0%増）と、会社計画並びにアルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）予想（売上高 1,300 百万円、営業利益 30 百万円、経常利益 30 百万円、当期純利益 20 百万円）を上回って着地した。増収率に対して増益率が高い理由は、採算性の高い IP コアライセンス事業の売上高が大きく伸びたためである。
- ・事業別売上高では、IP コアライセンス事業は 380 百万円（前期比 65.2%増）。ゲーム機器向けのランニングロイヤリティ収入の落ち込みはあったものの、AI 関連や GPU 関連の新規ライセンスにより、大幅増収となった。
- ・LSI 製品事業は 553 百万円（前期比 51.9%増）。2019 年 3 月期から販売を開始した組込み機器向け AI FPGA（書換え可能な論理回路 LSI）モジュール「ZIA C3」、並びにアミューズメント業界向け、主にパチンコ・パチスロ向けの画像処理プロセッサ「RS1」の売上計上により大幅増収となった。
- ・プロフェッショナルサービス事業は 394 百万円（前期比 19.8%減）。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）向け「省電力 AI エンジンによる人工知能プラットフォーム」の開発に係る収入が剥落（2020/3 期からは助成金収入として営業外収益に計上）したこと等により減収となった。なお、その剥落額は 172 百万円と同事業の前期比減収額 97 百万円を上回っている。
- ・高採算である IP コアライセンス事業の売上高構成比が高まったため、売上総利益率は 50.5%と前期比 9.1%ポイント上昇した。販売費及び一般管理費（以下、販管費）は、開発要員の大幅増員に伴い 588 百万円（前期比 39.6%増）であった。販管費増を上回る売上総利益増により、営業利益率は 6.2%と前期に比べ 3.5%ポイント上昇した。NEDO からの助成金収入 57 百万円等で営業外収益が 59 百万円（前期は 5 百万円）と大幅増となる一方で、ヤマハ発動機（7272 東証一部）への第三者割当増資の実施に係る諸費用 56 百万円等で営業外費用も 57 百万円（同 1 百万円）と嵩み、営業外収支は前期比 45.8%減の 2 百万円となった。これを受けて、経常増益率は営業増益率に比べ縮小した。

◆ ヤマハ発動機が筆頭株主

- ・同社はヤマハ発動機と資本業務提携契約を締結した。第三者割当による新株式 320 千株全てをヤマハ発動機に割当（払込期日 5 月 27 日）、割当後はヤマハ発動機が持株比率 10.22%の筆頭株主となった。新株式発行により、自己資本比率は 2019/3 期末 83.8%から 2020/3 期末では 92.2%に改善した。

◆ 2021年3月期業績予想

- ・同社は 2021/3 期業績予想については未定としている。新型コロナウイルス感染症がパチンコ・パチスロ等の遊技機市場や顧客の開発投資等に与える影響を合理的に算定することが、決算公表時点において困難と判断したためである。ただ、配当予想は無配継続を計画している。
- ・パチンコ・パチスロ等の遊技機市場を取り巻く現下の経営環境をみると、パチンコ・パチスロの旧基準機撤廃期日の延長やパチンコ・パチスロ店の遊技機稼働率低下等が変化点として挙げられる。旧基準機撤廃期日を2021年1月末から一年間後ろ倒しする規制改正は、ホール企業の設備投資負担軽減(先送り)することを狙ったものである。加えて、ホール企業の遊技機稼働率の低下や営業自粛要請を受けた経験は先行きの経営懸念を高め、設備投資意欲の減退に直結している。
- ・こうした中で、パチンコ・パチスロ店向けに機器を供給している遊技機メーカーは、経営環境が不透明として 2021/3 期業績予想を軒並み未定としており、遊技機メーカーに画像処理プロセッサ「RS1」を販売している同社についても、同様の対応を余儀なくされている。
- ・当調査部の 2021/3 期業績予想は、前回発行したレポート（2020年2月25日発行）での売上高 1,900 百万円、営業利益 130 百万円、経常利益 180 百万円、当期純利益 120 百万円を経営環境の変化を踏まえて修正し、売上高 1,460 百万円（前期比 9.9%増）、営業利益 31 百万円（前期比 62.5%減）、経常利益 86 百万円（同 1.1%増）、当期純利益 68 百万円（同 4.1%増）とした。
- ・事業別売上高では、IP コアライセンス事業は 300 百万円（前期比 21.1%減）、LSI 製品事業は 660 百万円（前期比 19.3%増）、プロフェッショナルサービス事業は 500 百万円（前期比 26.9%増）と予想した。
- ・IP コアライセンス事業売上高は、前期同様に AI 関連の新規ライセンス獲得を見込むものの、GPU 関連の新規ライセンスの落ち込みを補えないと考えた。プロフェッショナルサービス事業売上高はヤマハ発動機から中期的なロードマップに基づいた受注が見込め、開発要員増もあり増収が図れるとした。
- ・LSI 製品事業では画像処理プロセッサ「RS1」が、四半期毎に 1 回出荷があると想定した。遊技機メーカーは、20 年度の機種種予定数を従来計画から絞り込むにしてもゼロにはならないと考えられるためである。
- ・全体としては増収見込みながら採算性の高い IP コアライセンス事業の減収予想が響き、営業利益は大幅減益見通しとした。営業外収支は NEDO からの助成金収入が前期同様に見込まれる一方で、第三者割当増資の実施に係る諸費用が剥落するため改善、これを受けて経常利益は前期比微増予想とした。
- ・当調査部の 2022/3 期業績予想は、近々発行する予定のフルレポートに掲載予定である。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】 図表 A

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2018/3	973	40.3	69	-	66	-	109	-	39.64	671.93	0.0
2019/3	1,086	11.6	28	-58.5	33	-49.9	35	-67.8	12.54	710.70	0.0
2020/3	1,328	22.2	82	185.6	85	155.4	65	86.0	21.21	1,131.88	0.0
2021/3 CE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
2021/3 E	1,460	9.9	31	-62.5	86	1.1	68	4.1	21.72	1,153.60	0.0

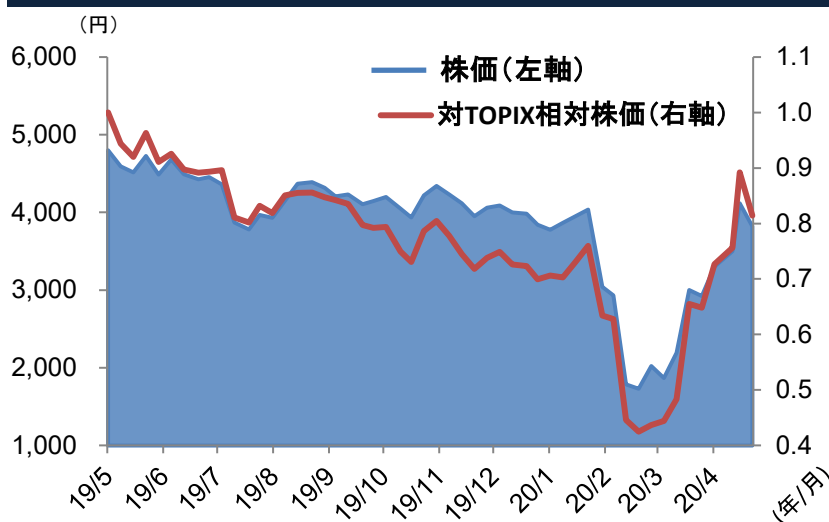
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 B

項目	2020/5/29	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	4,010	前期実績	189.1	3.5	-	-
発行済株式数 (千株)	3,131	今期予想	184.6	3.5	-	-
時価総額 (百万円)	12,558					
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率		92.2%	前期ROE	2.4%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート(週末値)3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 C



(注) 2019年5月第5週～2020年5月5週

【パフォーマンス】		
期間	リターン	対TOPIX
1か月	16.4%	9.0%
3か月	31.9%	27.5%
6か月	-7.6%	0.4%
12か月	-16.5%	-19.2%

(注) 月末値が基本、直近1か月は4/30と5/29との比較

ディスクレマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。（更新された）最新のレポートは、弊社のホームページ（<http://www.awincap.com/>）にてご覧ください。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。取材や客観的な事実に基づいて、極力、中立的な立場からレポートの記載に努めています、また、会社による予想や判断と弊社による予想及び判断を区分し、記載するようにしております。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。